

木馬会会報 (第80号)

* 菊花賞特集 *



97/10/31

～木馬達の予想～

本紙 トゥインクルダンディ

◎マチカネフクキタル ○メジロブライト ▲シルクジャスティス

△シルクライトニング、パルスビート、サードサンズリル、ステイゴールド

競馬ブックを見て驚いた。予想者が全員シルクジャスティスに◎を付けている。そんなに堅い馬だろうか？確かにダービー2着、サニブがいない、藤田は松永よりもうまい、前走ではG1馬ダンスパートナーにも競り勝った。条件は揃ったように思えるが、なぜか触手が伸びない。多分それは私がダンスパートナーをそれほど強い馬だと思ってないからだだろう。エアグループのようにジュニユインに勝ったような実績があれば自信の◎だが…それに今年の4歳はサニブを除けば能力差は少ないと思う。ダービーも大混戦だった。

ということで、確実に1番人気のシルクジャスティスを嫌って、マチカネフクキタルで勝負しよう。トライアル2連勝、これは年度代表場マヤノトップガンの連続2着をはるかに上回る好成績。距離不安を囁かれるがサニブがいない今回いったい何が逃げるといえるのだろうか？テレビ馬が出現しない限り、例年以上のスローペース、昨年同様の上がりの競馬と考えるのが普通だろう。それならスタミナは心配ない。そこで勝負なら、シルクより好位で競馬をすすめられ、そして同様の切れ味を持つマチカネフクキタルの勝利だ！上がり勝負で大外なら届かない。内側の馬の差しが伸びない今の京都コース。マチカネフクキタルの栄冠はかなりの確率だと信じよう。

栄蔵の一番弟子 TP

～TPの屁理屈～

◎…シルクジャスティス ○…シルクライトニング

△…マチカネフクキタル、メジロドーベル、パルスビート、トウジントルネード、エリモダンディー、ダイワオーシュウ

菊花賞は、これまでの2G1よりも固くなさそうである。そこで、有力馬はほとんど末脚勝負型である事から、穴をあけるのは前で戦える馬と睨んだ。フジヤマケンゼンのような…

が、いないのである。いくら穴が出そうと思っても、来そうもない馬をピックアップするほど私はロマン派ではない。とにかく900万条件を勝てない馬、嵐山Sで勝ち負けできない馬、前走掲示板にも載らない上に春の重賞実績もない馬。これらはいくら前に行く馬でも速に絡めるほど菊花賞は甘くはない。結局50倍以上の馬券は出ないだろう。

さて本命だが、末脚勝負でも京都4歳特別のように捲ることもできるし、騎手がそれだけの度胸を持っているシルクジャスティス・藤田。菊花賞に勝つ馬は、歴代の菊花賞馬を見ればわかるように、皐月賞馬、ダービー馬よりもそうそうたるメンバーであり、古馬になってからの中長距離の活躍を保証される。その視点からいえば、勝つのはジャスティスしかないだろう。相手にはシルクライトニングを取り上げよう。シルクーシルクで決まるとはあまり思えないが、中間の動きが素晴らしいし、春の実績十分

で前走6着も悪くはない。前で戦えるのも有利。それより何よりトミオには悪いが、武に乗り変わったのが大きい。何しろ岡部で着取りしかできなかったチーターが、武が乗ったら2着。先週の日曜の武の騎乗ぶりにはほれほれした。目にものもらいができるほどこれまでも書いてきたが、やはり武は上手すぎる。2着に来る実力を持った馬に武が乗ればこれはもう対抗に推さざるをえない。

それ以外ということになるが、2戦連続あの鬼脚を見せられてはあながち一世一代の脚といいきることとできず、例年最後の直線の瞬発力勝負になることから、血統的には短中距離馬であるMフクキタルも押さえが必要。走りは素晴らしいし、あとは精神状態だけ。Mブライトだが、多分にライオンの血が濃すぎて、ここも着止まりだろうし、本質的には中距離馬。前走で馬体の成長も見られなかったし、何しろ、思い切ったことはしない松永幹が捲ったりするわけがなく、馬鹿の一つ覚えで最後の直線の末脚勝負をするだろう。それではまた掲示板止まりだよ。かなり確率は低いですが、ミッキーが血迷って捲りに出ることを期待して△。地味だし、首の高い走りが大物感を感じさせないが、前走もブライトの追撃を差し返したパルスビートも前で戦える強みを生かせるとみて△。他はちょっと差があるが、がさのない馬でG1では入着が精一杯の気もするが、京都が得意なところにかけてみたいエリモダンディー。前走の内容もよかった。Dオーシュウは穴人気になりそうだが、魅力あるのは血統のみ。セントライト組ではこれが1番かなと思うので取り上げる。最大の穴馬で魅力十分なのがトウジントルネードだ。やまゆり賞では圧倒的といってもいいほどの1番人気(2.2倍)に推され、前走もいい脚を使った。中間筋肉痛で予定のレースを使えなかったのは痛いですが、馬格のあるSS産駒で底を見せておらず、この世代でもっとも強いSS産駒牡馬の可能性もある。先週阪神で大万馬券をかつ飛ばした福永騎乗もとても魅力だ。

結局第4回東京開催は毎週儲けさせていただきました。しかし、トゥインクルダンディ氏や情シの某氏が回収率100%を超えていることを聞くと、やはりセンスのあるなしは大きいなと思います。私のような努力型で大きな勝負はしない人間はきっと回収率120%ぐらいが限度なのでしょう。まあ、それでも地道に頑張らしましょう。現在の回収率93.2%

へなりん

久しぶり"へな"のひとりごと

お題「パルスビート君、疲れてないよね。」

2月デビュー(3戦目で初勝利)→4月阪神→新潟→5月東京→6月中京→福島「たんば賞」→7月小倉「北九州」→真夏の栗東調整→9月阪神「朝日CC」→10月京都「京都新聞」…う～ん、やっぱり疲れてるんじゃないか。前走も目イチのようだったし。もう要らんだろう。私の彼に対する評価はこんな感じだった。ところが…。そういえば前にも「君はもう疲れている。だから消した。」と思いこんで、痛い目にあった馬がいた。そうマヤノトップガン。疲れていると思ったのにあんなに元気だったなんて。歴史は繰り返される(私の中で)→◎パルスビート。先行好位差し…こりゃまた似てる。トニービン様のお通りだい。誰よりも菊にこだわる安田隆行調教師、夢の3冠目指して頑張ってるね。

マチカネフクキタルよ、君はナイスネイチャかスターマンか。(もしかしてラグビーボールか。)や

っぱり3、4着だろうね。メジロブライトよ、そんなに父に似なくても良いのだよ。3→2→3だった父のクラシック。君は4→3ときて、やっぱり4かい？今年4着争いが熾烈のようだ。松永幹よ、翌日の名古屋競馬場の東海菊花賞でも優勝して（キョウトシチー）2日連続菊花賞制覇！なんてことは…ないよね。京都大賞典で爆発し、期待をもたせて本番で散る。そんなミナモトマリノスに君はならないよね、ジャスティス君。格が、実績が違うね。本当は安田富男さんにもう一度菊の花を咲かせてほしかったのに…。岡部様により替わりという噂もあったが、予想通り武だったライトニング。穴人気になるのかな？スピードワールドにも乗り替わるし、武さんはいい馬ばかり乗れて幸せ者だと思う。（勝負の世界は厳しいのだ。）妙に不気味な小林稔蔵舎の2頭。まじで怖いと思っているのは私だけか。ここでノーザンテーストの重賞記録を延ばすか、オースミジャイアン（連闘の夏木立賞で見せた33.9の鬼脚は不気味すぎる）。トニービンだと思っていたらこっちのトニービンだったりして、フサイチキャプテン（デビュー前から凄い評判だったんだよね、この馬。アドラーブルの初仔。エモシオンの兄貴）。注：まだどちらも出走できるかわかりませんが。

今年もやっぱり菊が面白いです。

◎…パルスビート○…シルクライトニング

△…メジロブライト、シルクジャスティス、トキオエクセレント、ダイワオーシュウ
ティエムトップダン、オースミジャイアン

～ふえら～

卵をぶつけてはいけない。卵がもったいないじゃないか。腐った卵ならいいけど。何やってんだよ三浦カズ。ロスタイムが短いのを抗議してどうなるんだ。後3分あればお前はゴールを奪えたのか。いったい何分得点していないのか自分で分かっているのか。90分はお前には長すぎる、後半途中交代で十分だ。今の自分に本当にふさわしいポジション、プレイ時間を把握するのが本当のプロだろ。僕は君を本当のプロだと思っている。もう一度その勇姿を見せてくれ。我々サポーターはまだまだ諦めていない。ワールドカップ出場を決めた瞬間、歓喜をあげ涙を流す準備は常にできている。誰も卵を投げる準備などしていないのだ。

日本代表とは裏腹に秋華賞、天皇賞と競馬界では素晴らしい戦いが繰り広げられている。皐月賞馬、ダービー馬不在の菊花賞はどういう展開になるのか楽しみである。僕の期待はクラシック2着のシルクライトニング、シルクジャスティスのシルクコンビ。ダービーもこの2本柱でいったが残念ながらライトニングが走ってくれなかった。今回は騎乗も武豊に変わることだし大いに期待しよう。相手はとなるとずっと期待しているヒダカブライアンは完調にはほど遠いといった感じだし、さあて困ったもんだ、どうしよう。んっ、何か忘れていないか。そうだ忘れた頃のサンデーサイレンスということでステイゴールド、トウジントルネードはどうか、しかし僕の尊敬するTP氏が昔々あるところで軽いSS産駒と栗毛のSS産駒はG1では期待できないと言っていたのでやめることにしよう。で、忘れた頃の1番人気ということでメジロブライト、忘れた頃の南井ということでマチカネフクキタル。そして忘れてはならないリアルシャダイということでダイワオーシュウの3頭に期待することにする。

忘れた頃ので思い出したのだが、岡田監督何か忘れていませんか、そうです、グランパスの平野ですよ平野。あのストイコビッチが日本で一番のテクニシャンと認めた、左のスペシャリスト平野。なぜ使わないのですか、あの左足は韓国にも当然通用するし驚異にもなるはず。間違いなく三浦カズよりはだんぜん使える。期待してますよ岡田監督。

◎シルクジャスティス、シルクライトニング

△マチカネフクキタル、ダイワオーシュウ、メジロブライト

★ヒラノタカシ

～ライスシャワシャワの予想はよそう～

◎シルクジャスティス ○メジロブライト ▲マチカネフクキタル

△シルクライトニング、トキオエクセレント、パルスビート、フサイチキャプテン

まんまとエアグルーヴにしてやられた天皇賞。しょせんは牝馬と度外視していたが、やっぱり強かった。武曰く、「現役最強牝馬でなく、現役最強馬ですね」と言ったらしく、まあ言ってなさいという感じ。レースも終わってみれば、3着ジェニユイン、4着タッチとG1の常連。やはり競馬は格です。

さて菊花賞。サニーブライアンが骨折のためいないのは残念であるが、そのせいか強力な先行馬がいらない。そうなれば、ほとんどの馬にとって、3,000mというのは未知の距離でありジョッキーはペースを伺いながら慎重に乗るはず。とうていハイペースになるとも思えず、坂を下り始めてからヨーイドンの競馬が予想される。4角ではかなりごちゃつくだろうし、人気の3頭が追い込み脚質であることを考えると、脚を余して負けることも考えられる。しかし、前述したように最後に物を言うのは格。トライアルでやっと権利を取った馬や前走で勝ってもいけないような馬に負けるはずはない。

ということで、前置きは長くなったが、本命はシルクジャスティス。神戸新聞杯ではあっさりと負けたが、叩き良化型らしく古馬相手の京都大賞典はダンスパートナーを差し切った勝利。春先の軌道に乗った時の強さが復活した。昨年のダンスインザダークほど強烈な勝ち方ではないにしても同じような勝ち方をすると見た。

相手にはメジロブライト。前走は休み明けでもあったが、見せ場たっぷりの3着。本番へ向けては申し分ない叩き台であった。父ライアンの詰め甘さがそのまま遺伝してしまったような気もしないではないが、安定度という点では1番かも。勝つにはジャスティス以上に展開の助けというか、運が必要となるであろうが、2着なら取れるだろう。

さて、トライアル圧勝続きのマチカネフクキタル。巷で言われている様に、距離ということ疑ってみたい。一時は陣営も距離を不安視して天皇賞も視野に、とも言っていた。トライアルの連勝は本番での不安があるために、賞金稼ぎに徹したものと取れる。負けたら負けたで、「やはり距離が長かった」ということになるし、前記2頭に比べ、トライアル時から更に状態がアップするとも思えずここは3番手評価まで。神戸新聞杯に勝ち、京都新聞杯ではナリタブライアンを差したスターマンが思い出される。

他の馬では出番はないような気もするが、前述した通り、上記3頭が脚を余して負けることも考えられ、そのときはある程度前にいて、スタミナの有りそうな馬にもチャンスはある。ということで、シルクライトニング、トキオエクセレント、パルスビートまで念のため押さえるがあくまでも連下候補。あと出られればという条件がつくが、トニービンにアドラーブルという良血馬フサイチキャプテン。血統的に長いところは良さそうだし、コンコルドのような一発大駆けもありえるのでは？

秋華賞、天皇賞、そして大井のグランドチャンピオン2000もアブクマポーロ、コンサートボーイと入って馬単で290円。これでは全く話にならん。混戦菊花賞を迎えてワクワクです。

TPさん、先週のSS分析は説得力があり秀作でしたね。次回のバブルはどうなるのでしょうか。目一杯走ったのでしょうか？

今回は距離が長いのでタイム評価よりも、実績重視のP R J C T - D評価の方を第一としてみます。

	減点	3 走前	2 走前	前 走
シルクライトニング	0.45	-1.4	-0.9	-1.0
シルクジャスティス	0.55	-0.1	-1.8	-0.3
メジロブライト	0.60	-1.5	-0.2	-0.6
マチカネフクキタル	0.80	-0.6	+0.2	-0.4
ダイワオーシュウ	1.05	-0.6	-0.5	-1.0
サードサンズリル	1.05	-1.2	-0.3	-0.3
パルススピード	1.10	+0.3	+0.2	-0.5
トキオエクセレント	1.10	-2.7	-0.8	-1.3
ヒダカブライアン	1.15	-2.6	-3.0	-2.0
エリモダンディ	1.20	-0.2	-2.8	-0.8
ステイゴールド	1.25	-1.1	-0.8	-0.8
ショウナンアクティ	1.30	-0.8	-2.7	+0.1
シャコーテスコ	1.35	-1.1	-0.9	-0.9
ティエムトップダン	1.40	-1.4	-0.7	-1.8
オースミジャイアン	1.65	-1.9	-0.3	-0.8
フサイチキャプテン	1.65			-1.3
トウジントルネード	1.80	-2.3	-1.4	-0.7

◎ シルクジャスティス ○ パルスビード

▲ シルクライトニング ▲ サードサンスリル、

ダービー2着がまたやって来そう。パルの安定味も捨てがたく展開的にも有利。この2頭がリード。シルクライトニングは武騎乗で浮上。穴ならサードサンスリルの1発。トウカイパレスに似ている。フクキタルは距離が持たないだろう。トライアル2連勝で本番3着のトウショウボーイ(母父)がダブル。メジロブライトは1歩足りない気がするのだが。先週の天皇賞で7枠サイン(キングオブダイヤ、クラウンシチーの頭字)が出ているが、あまりに近いのでガセのような気がする。

第58回 菊花賞

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
			シャコーテスコ	シルクライトニング	シルクジャステイス	トキオエクセレント	メジロブライイト	サードサンスリル	ニケスピリット	ショウナンアクティ	ルールファスト	エリモダンディ	ヒダカブライアン	ダイワオーシュウ	パルスビート	ノーザンウェー	マチカネフクキタル	テイエムトップダン	トウジントルネード	ステイゴールド	馬名
			蛸沢	武豊	藤田	吉田	松永幹	石橋	中竹	幸	橋本美	河北	河内	柴田善	四位	古川吉	南井	和田	福永	熊沢	騎手
				△	▲		○	△							△		◎			△	トウインソルタンド
					◎	△	△							△	◎						ドロンジョ
				○	◎		△				△			△	△		△		△		TP
			△	△	○		▲					△			△		◎				YO
					◎		◎														おけらくん
				○	△	△	△							△	◎			△			へなりん
				◎	◎		△							△			△				ふえら
			◎		△		◎					△									ミスターX
				▲	○	△	◎								△		△				心配御無用!
			○	×	◎	▲	×										×				ラッキー
				△	◎	△	○								△		▲				ライスシャワー
			△		△	△	△	◎				△							○	△	ムーブメンツ

	天秋	菊花	リ女	マイルC	J C	阪牝	朝日	スP S	有馬	フェア	桜花	皐月	天春	NHK	高松	オークス	優駿	安田	宝塚	秋華	天秋
トインクウ★ンディ		○	○				☆	○	○	○	○			○	☆				○	○	○
下ロンジョ	◎	○	○					○	○		○		○	○				○	○	○	○
TP		○	○	◎			☆		○		○		○	○					○	○	○
Y O		○	○								○		○	○	☆			○	○	○	○
おけらくん			○	◎		○		○			○		○	○				○	○	○	○
へなりん	◎							○			○		○	○			◎	○		○	○
ふえら								○		○	○		○	○				○	○	○	○
ミスター X						○		○	○		○		○	○					○	○	○
心配御無用!										○	○		○	○					○	○	○
ラッキー						○					○		○	○					○	○	
ライオンサマワ								○	○		○			○					○		○
メルブズ				◎				○										○			

○・・・20倍 ◎・・・20～50倍 ☆・・・50倍～

固く、固くはじまった秋のG1路線、皆さんの成績はいかがでしょう？